

(仮称) 利根町自治基本条例 前文 (素案) 修正案

前回提出案	修正案
私たちのまち利根町は、<u>首都圏</u>から40キロメートルに位置し、<u>都市圏への通勤・通学圏内</u>です。眼下には日本三大河川の一つであり、坂東太郎とも呼ばれる利根川を望み、古来より水運の要衝として繁栄してきました。今なお絶えることのない水の恵みは、豊かな緑を育み、田畑を潤しています。<u>蛟もう神社や徳満寺をはじめとして、歴史ある神社仏閣が存在し、また、民俗学の父柳田國男が幼少期を過ごし、民俗学を志すきっかけとなるなど、歴史、文化の足跡がまちの様々な場所に残されています。</u>	私たちのまち利根町は、<u>都心</u>から40キロメートルに位置し、通勤・通学圏内です。眼下には日本三大河川の一つであり、坂東太郎とも呼ばれる利根川を望み、古来より水運の要衝として繁栄してきました。今なお絶えることのない水の恵みは、豊かな緑を育み、田畑を潤しています。《<u>Aまた、貴重な文化財や史跡など歴史、文化の足跡がまちの様々な場所に残されています。</u>》 《<u>B関東最古の水神を祀る蛟もう神社や国の重要文化財を有する徳満寺などの史跡が存在し、また、民俗学の父・柳田國男が幼少期を過ごし民俗学を志すきっかけとなる地であるなど、歴史、文化の足跡がまちの様々な場所に残されています。</u>》
近年、<u>利根町を取り巻く社会環境は激変しており、少子高齢化、様々な要因による人口減少、地域の活力低下などへの対応が求められています。</u>その中で私たちは、子どもから高齢者まで<u>性差なく</u>、すべての人が明るく元気で住みやすいまち、町民から愛されるまちを創り上げ、<u>それを未来へと引き継いでいかなければなりません。</u>	近年、<u>(様々な要因による人口減少や少子高齢化、地域の活力低下など)利根町を取り巻く社会環境は目まぐるしく変わってきています。(こうした状況の中で)</u>私たちは、子どもから高齢者まですべての人が明るく元気で住みやすいまち、町民から愛されるまちを創り上げて<u>いかなければなりません。</u>
そのために私たちは、先人たち<u>により守られ受け継がれてきた自然、歴史、文化を後世に引き継ぐとともに、町民一人ひとりがまちづくりの主役となって、議会や行政と協力し、まちに関わるすべての人が一丸となって協働のまちづくりを推進していくことが必要です。</u>	そのために私たちは、先人たち<u>から受け継いできた自然、歴史、文化を後世に引き継ぐとともに、町民、議会、行政がそれぞれの役割を果たしながら協働し、一丸となって町民主役のまちづくりを進めていくことが必要です。</u>
私たちは、まちづくりの基本理念を明らかにし、<u>この郷土と歴史を誇りとし、笑顔あふれるまちづくりを進めるため、その規範として、利根町自治基本条例を制定します。</u>	私たちは、まちづくりの基本理念を明らかにし、<u>(この郷土と歴史 or 利根町民であること)を誇りとし、笑顔あふれるまちづくりを進めるため、利根町自治基本条例を制定します。</u>